

政策連合 取組状況報告

幹事県名 福岡県

(政策連合名) ごみ減量化に向けた啓発活動の連携

1. 取組目的

ごみ減量化に向けて、住民に対する広報活動や啓発活動を7県共同で実施することにより、効果的な活動が可能となり、経費の削減にもつながる。

2. これまでの取組と成果

(1) 九州ごみ減量化推進協議会の設置 (平成19年4月)

(2) 平成19年度九州統一マイバッグキャンペーンの実施

- ・「シンボルマーク」の募集 (応募数: 1,030作品)
- ・「標語」の募集 (応募数: 2,185作品)
- ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付
- ・10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施

(3) 平成20年度九州統一マイバッグキャンペーンの実施

- ・「標語」の募集 (応募数: 6,561作品)
- ・レジ袋削減の取組を行う「一斉行動参加店」の募集 (参加数 5,775店)
- ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付
- ・一斉行動参加店の協力も得て、10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施 (一斉行動参加店におけるレジ袋削減枚数: 4,620万枚)

(4) 平成21年度九州統一マイバッグキャンペーンの実施

- ・「標語」の募集 (応募数: 9,713作品)
- ・レジ袋削減の取組を行う「一斉行動参加店」の募集 (参加数 5,985店舗)
- ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付
- ・一斉行動参加店の協力も得て、10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施 (一斉行動参加店におけるレジ袋削減枚数: 6,557万枚)

- (5) 平成22年度九州統一マイバッグキャンペーンの実施
- ・「標語」の募集（応募数：11,070作品）
 - ・レジ袋削減の取組を行う「一斉行動参加店」の募集（参加数：6,245店舗）
 - ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付
 - ・一斉行動参加店の協力も得て、10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施（一斉行動参加店におけるレジ袋削減枚数：5,556万枚）
- (6) 平成23年度九州統一マイバッグキャンペーンの実施
- ・「標語」の募集（応募数：9,750作品）
 - ・レジ袋削減の取組を行う「一斉行動参加店」の募集（参加数6,708店舗）
 - ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付
 - ・一斉行動参加店の協力も得て、10月を重点的取組月間とする7県統一キャンペーンを実施（一斉行動参加店におけるレジ袋削減枚数：6,138万枚）
- (7) 平成24年度ごみゼロ九州キャンペーンの実施
- ・「シンボルマーク」、「標語」の募集（応募数「シンボルマーク」2,845作品、「標語」7,478作品）
 - ・「シンボルマーク」、「標語」の最優秀作品を活用した統一ポスターの作成、配付、ごみ減量化強化月間（10月1日～10月31日）での掲示
- (8) ごみ減量化に関する意識調査の実施（平成24年5月～6月）
- ・平成25年度以降の取組の検討資料とするため、九州7県の県民を対象に、ごみ減量化に関する意識調査（対象者1,266名、うち回答者873名）を実施した。

3. 課題

平成24年度に実施したごみ減量化に関する意識調査の結果や各県のごみ減量化啓発事業の取組状況を踏まえ、7県が連携して事業実施が可能であり、かつ効果的な啓発を実施することができる分野や実施方法を検討していく必要がある。

4. 今後の取組内容

平成25年度以降の事業については、ごみ減量化に関する意識調査の結果や九州各県の3R取組動向を踏まえ、ひとりひとりがものを大切にし、壊れたものを修理して、くり返し使用すること（リペア）を推奨するキャンペーンを実施することに決定した。

事業内容としては、九州7県内で、壊れたものを修理する店舗を「九州 まちの修理屋さん（仮称）」として募集し、登録する。登録店には九州7県のキャラクターを使用したシンボルマークのついた啓発物を店頭に掲示してもらい、各県はホームペ

ージへの掲載や記者への資料提供等を行い、広報する。キャンペーンを通じ、県民にもものを修理して再使用してもらうことにより、排出されるごみの削減が可能になるとともに、3Rに関心をもってもらう契機となる。

5. 今後のスケジュール

平成25年1月（予定）

九州ごみ減量化推進協議会 会議実施

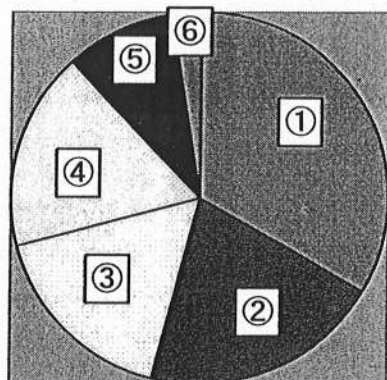
（平成25年度以降の事業についての詳細決定）

○ 意識調査アンケート概要

九州7県の県民を対象に、ごみ減量化についての意識調査アンケートを実施（平成24年5月～6月）。

近年のごみ問題の原因や状況改善のために取り組むべき課題などの項目について、調査した。

【 ごみ問題についての原因は何だと思えますか。 * 複数回答可 】

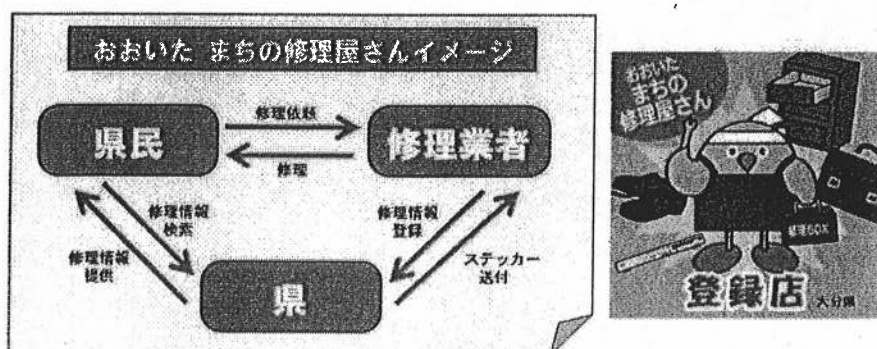


- ①生活様式
- ②修理等の取組不足
- ③リユースの取組不足
- ④リサイクルの取組不足
- ⑤ごみの適正処理の不足
- ⑥その他

①	大量生産、大量消費、大量破棄といった私たちの生活様式	33.2%
②	ものを修理する等、大切に使うことができていない	20.7%
③	ものをリユース（再使用）するための取組が不十分。	17.0%
④	リサイクル（ごみを資源として再生利用する）への取組が不十分。	17.0%
⑤	ごみの分別等、適正な処理が行われていない。	9.5%
⑥	その他	2.6%

⇒ 上記回答結果のうち、県民の問題意識が高い分野に関して、最新の施策を踏まえ、解決の一助となりそうなものを検討した。

○ 平成23年度より大分県が新たに実施しているリペア促進事業 「おおいた まちの修理屋さん」



この取組を九州7県に拡大して実施することにより、県民にももの修理・再使用に向けた取組を実施してもらう契機を提供する。アンケートにて問題意識の高かったごみの減量化に関する広報活動・啓発活動としてこの取組を実施することにより、もののリペア、ひいては3R全般に関心を持ってもらうことを目的とする。